



織部焼の文様：傘と鶯

展示や講座、発掘調査の成果、文化財関係事業のお知らせ

美濃陶磁歴史館だより

美濃陶磁歴史館は新博物館準備のため休館中です

土岐の知られざる文化財「追沢の宝篋印塔」

みなさんは供養塔として作られた石造物「宝篋印塔」をご存じでしょうか。市内には複数の宝篋印塔がありますが、今回は土岐口の浅間神社近くにある「追沢の宝篋印塔」をご紹介します。2基あり、1基は14世紀前半頃のもので高さ108cmと市内最大級を誇ります。もう1基はより小型で高さは43cm、「嘉慶二年（1388年）十月十日」の紀年銘があります。当時の土岐口一帯の領主は土岐氏庶流の高山氏と考えられますので、これらの宝篋印塔はおそらくその一族縁者のものでしょう。高山氏は小さい方の宝篋印塔が造立された直後、1389～1390年にかけて起きた土岐康行の乱により所領の大半を失って大きく勢力を弱め、やがて歴史の中に消えてしまいます。その後も忘れ去られることなく追沢の人々に守られて今日まで伝わった宝篋印塔をぜひ一度訪ねてみてください。

所在地／土岐津町土岐口 814-2
※「陶元町憩いの家」の北西側に隣接

学芸員講座のお知らせ



美濃陶磁歴史館は現在休館中ですが、この休館期間中も市民のみなさまが楽しみながら学んでいただける機会を提供すべく、学芸員講座を開催いたします。お気軽にご参加ください。

- 第1回 10月6日(日) 遺跡を学ぶ1「元屋敷窯」
- 第2回 11月2日(土) 探訪1「元屋敷窯」
- 第3回 12月21日(土) 織部デザインに触れよう
- 第4回 1月11日(土) 遺跡を学ぶ2「乙塚・段尻巻古墳と隠居山遺跡」
- 第5回 2月8日(土) 探訪2「乙塚・段尻巻古墳と隠居山遺跡」

【会場】第1・3・4回 土岐市文化プラザ3階第5研修室
第2回 元屋敷陶器窯跡／第5回 乙塚古墳

【開催時間】13:30～15:00

【受講料】無料

【定員】各回40人(事前申込制・先着順)

※「織部デザインに触れよう」のみ20人。



申込方法

メール、または電話

受付開始

9月18日(水)
電話受付時間
火～土 9:00～17:00

メール申込はこちら


 国民文化祭
特別展示
新しい茶陶と現代に挑む

国民文化祭特別展示として開催する本展では、美濃桃山陶を起点とし、「茶陶」を軸にむかしといまをみつめ、桃山時代の陶工が生んだ茶陶「美濃桃山陶」と、現代の作り手が生み出した現代茶陶展受賞作から、いつの時代にも望まれ生まれてきた「新しい茶陶」の姿を展観します。

歪みの造形



黒織部

型を用いた多様な造形



青織部

描かれた抽象・具象の文様



志野織部

青織部

桃山時代の新しい茶陶

茶の湯の世界の価値観は常に変化し、使われる道具もまたその影響を受けてきました。室町時代から始まる唐物（中国陶磁）第一主義が大きく変化した桃山時代、国内の茶陶生産は、中国陶磁の模倣から脱却した新しい茶陶の時代へと進みます。そこで誕生したのが、黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部といった「美濃桃山陶」でした。中でも「織部」は、外国の文物や流行り物など新しいものを受け入れる大らかさと、それらを取り込み新しいものを生み出す貪欲さを凝縮したような器です。

現代の新しい茶陶

美濃桃山陶の一大生産地であった土岐市では、この歴史を背景に、茶陶にまつわる公募展「現代茶陶展」を平成7年から開催しています。今年で第16回を迎えたこの公募展では、第1回の開催当初から、新鮮な創意にあふれる「現代の」茶陶の出現が期待され、多くの作り手がそれに挑み、そこからさらに自身の創作の道を拓いてきました。



《白磁水指》高橋奈己 第11回大賞



《Like a Rolling Stone-Tsukechi Valley》沼尻真一 第12回大賞



《ふた、モノ。》五味謙二 第7回大賞



《つぼみ》梅田裕史 第16回大賞

会期	2024年10月20日(日)～11月4日(月・祝)
会場	土岐市文化プラザ 展示室
開館時間	午前10時～午後4時(初日は午後5時まで)
休館日	10/21(月)・10/28(月)
入館料	無料

土岐市文化財情報 美濃陶磁歴史館だより vol.17 2024 年 10 月号

発行日／2024 年 9 月 30 日

編集・発行／土岐市文化振興事業団（土岐市美濃陶磁歴史館）

〒509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2121-1 土岐市文化プラザ3階

TEL：0572-55-1245 メール：toki_museum@toki-bunka.or.jp

土岐市文化振興事業団では、土岐市から美濃陶磁歴史館の運営と埋蔵文化財調査を受託しています。

土岐市美濃陶磁歴史館は、建て替えのため休館中です


 美濃陶磁
歴史館
WEB サイト


令和6年度 土岐市美濃陶磁歴史館 館外展示

土岐市美濃陶磁歴史館は、新博物館建設に伴い令和6年3月31日をもって休館し、新博物館開館の令和9年度まで土岐市美濃焼伝統産業会館で館外展示を行います。

お
ふ
け
御
深
井



花入



向付

企画展

ポスト

織部の時代

安土桃山時代から江戸時代初頭、元屋敷窯を中心とする美濃窯では、畿内での茶の湯の流行を受け黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部といった美濃桃山茶陶が多数生産されていました。

その後、慶長年間（1596-1615）の末年から元和年間（1615-1624）に入ると、織部には形状や大きさ、施釉法などに変化が現れ始めます。そして元和年間の末年から寛永年間（1624-1644）には、「御深井」や「白釉」と呼ばれる、織部とは異なる新しいスタイルの焼物が生産されるようになります。

御深井は中国の青磁などを、白釉は中国や肥前（九州）の染付を意識した焼物です。ちょうどこの時期は、大坂夏の

は
く
ゆ
う
白
釉



水指



向付

陣（1615年）が終わり豊臣氏が滅亡し、徳川幕府が武家諸法度元和令（1615年）や禁中並公家諸法度（1615年）、寺院法度（1601-1616）、参勤交代（1635年）などの統制令を定め全国支配を強化した時代でもありました。また、茶陶の流行に影響を与えたであろう天下一の茶人が、古田織部（1543-1615）から小堀遠州（1579-1647）に交替した時期でもあります。こうした時代の大きな変革期に、焼物の好みも変化し、その需要に応じる形でこれらの焼物が生産されるようになったのです。

今回の展示では、織部以降に生産された焼物の時代を「ポスト織部の時代」と称し、その時代に生産された焼物の特徴と時代背景を紹介します。

関連イベント

- 講演会
日時／2024年11月24日（日）13時30分～15時00分
場所／土岐市美濃焼伝統産業会館2階研修室
講師／清水実氏（三井記念美術館学芸部長）
定員／40名程度 ※事前申込不要・参加費無料
- 展示解説
日時／2024年12月7日（土）・2025年1月18日（土）14時～

NEWS

トキハク
プロジェクト

土岐市美濃陶磁歴史館が、新しい博物館へと生まれ変わるプロジェクトについて、これまでの活動や今後の予定をお知らせします。

新博物館の建物イメージ（基本設計時点のイメージです）



これまで、そしてこれからの動き

令和5年度
（2023年）

基本設計

令和6年
3月31日
美濃陶磁歴史館
休館

令和6年度
（2024年）

・実施設計
・美濃陶磁歴史館
解体工事着手

令和7年度～
（2025年）

・敷地造成工事
・建設工事
・外構工事着手

令和9年度
（2028年）

※令和10年初め頃
新博物館開館

令和6年5～8月 収蔵品の引っ越し

建物解体に向けて、収蔵品を仮保管場所へと引っ越しする作業を行いました。約17,000箱の発掘出土品などの輸送が終わりました。



引っ越し前



引っ越し後

令和6年8月末 美濃陶磁歴史館事務所移転

歴史館事務所を土岐市文化プラザ内へと移転しました。仮事務所で、学芸員が新博物館開館までの準備や休館中の普及活動を行います。館外展示や講座の開催情報はホームページをご覧ください。



隠居山で出土したパレオパラドキシア・タバタイの骨格標本は、文化会館のロビーから土岐市役所1階に移送しました！



令和6年10月 歴史館とのお別れ

引っ越しが終わり、取り壊しが始まりました。職員だけでなく、文化会館で成人式を行った方や小学生の時に歴史館に見学に来た方など、多くの人の思い出に残る建物でした。



昭和47年に開館した旧文化会館では、成人式も行われました。



この建物ともついに別れ。ロビーのかわいいタイルも見納めです。

ワークショップを
開催しています。

昨年度は2回のワークショップで、新しい博物館の交流スペースでの楽しみ方や活動を市民の皆さんと考えてきました。今年度は、第3回と第4回を開催しました。今後の予定はホームページをご覧ください。

第3回 4月14日



今後の市民活動やなまづくりについて考えるため、グループに分かれ意見交換を行いました。

第4回 7月7日



美濃焼や周辺の遺跡などを題材として何ができるか、何をしたいかをグループでまとめました。

「トキハクプロジェクト」
メンバー登録フォームのご案内

土岐市の新博物館を応援し、ともに活動していただくためのメンバー登録フォームができました。登録していただくと、新博物館や土岐市美濃陶磁歴史館に関わるイベント、ボランティア募集の情報をお送りいたします。ぜひご登録ください。

登録
フォームは
こちらから



※登録は小学校5年生以上に限ります。18歳未満の方の登録には保護者の同意が必要です。
※登録情報は土岐市美濃陶磁歴史館（公益財団法人土岐市文化振興事業団）で管理するとともに、土岐市産業文化部文化振興課（新博物館担当）とも共有し、双方から情報をお送りさせていただきます。
※登録情報は新博物館および土岐市美濃陶磁歴史館に関する情報発信以外の目的には使用しません。

2024年 10月5日（土）— 2025年 1月26日（日）
【会場】土岐市美濃焼伝統産業会館 第1展示室
【住所】岐阜県土岐市泉町久尻 1492-8 【TEL】0572-55-5527
【休館日】月曜日（祝日の場合は開館し、火・水曜日は休み）、祝日の翌日、年末年始
【入館料】無料